



幹事会だより

第 451 回 7 月 3 日 (木) 参加 4 人

◆北阪神支部の会員数と組織率

6/30 現在 医科 380 人 (77 %)、歯科 217 人 (67 %)

◆情勢と医療運動対策

7 月 17 日 (木) に開催予定の森臨太郎宝塚市長への表敬訪問と宝塚市における医療政策等の市政懇談会、今後の臨床研究会、文化企画について意見が交わされた。

防衛省が子ども向け「防衛白書」を小学校に送付している問題で、防衛白書のウクライナがロシアに攻め込まれた理由が「防衛力が足りなかったから」との記載に対して、内容が真実とかけ離れており子どもはまるまま覚えてしまうので危険だとの発言があった。

◆当面の支部活動

10 月 25 日 (土) に第 40 回支部総会を開催予定。記念講演では「みんなの筋肉体操 (仮) 」をテーマに順天堂大学スポーツ健康科学部教授の谷本道哉先生にご講演いただく予定。東リ いたみホール (伊丹市) で開催予定。

◆次回幹事会

8 月 7 日 (木) 14 時 30 分～「伊丹市立産業振興センター」にて開催予定
お問い合わせは TEL 078-393-1805 小川・大野まで

健康情報テレホンサービス 日替わり ミミより 聴く医療！

通話料無料 **(0120) 979-451**



★ 24 時間いつでも 3 分間程度の開業医の手作りの健康・医療情報を放送しています。
★ インターネットでもご覧いただけます。過去の放送分もキーワード検索できます。URL は、<http://www.hhk.jp/> 左下のバナー「健康情報テレホンサービス」をクリック。

【2025 年 8 月のテーマ】

月曜日	低出生体重児	火曜日	おくちぼかん	口唇閉鎖不全症について
水曜日	百日咳	木曜日	小児の吃音	
金土日	統合失調症と治療薬			

* 祝日は直前の放送テーマを放送します。
* 都合により、放送テーマは一部変更することがあります。
(お問い合わせ) TEL : 078-393-1840 Email : hyogo-hok@doc-net.or.jp

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2025 年 7 月 25 日号 No.358

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒 650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル 5 階

☎ (078) 393-1801 FAX (078) 393-1802

http://www.hhk.jp/

森臨太郎宝塚市長との懇談会

「資格確認書」プッシュ型発行を要望



森臨太郎宝塚市長 (奥中央) に資格確認書のプッシュ型発行を要望する中井支部長 (中央右)

協会北阪神支部は 7 月 17 日に 森臨太郎宝塚市長を表敬訪問し、宝塚市における医療政策等について懇談した。中井通治支部長をはじめ、林副支部長、脇野副支部長、川村副支部長、工藤幹事が参加した。市政懇談会の内容を紹介する。

森臨太郎宝塚市長への表敬訪問と宝塚市政懇談会では、森臨太郎市長が当選前に表明していた、保険証の廃止に伴う「資格確認書」の職権発行 (プッシュ型発行) について、宝塚市民の円滑な受療行動を確保・保障するうえで、きわめて合理的かつ重要なので、ぜひ「公約」を実現してほしいと要求した。森宝塚市長は「宝塚市は資格確認書はマイナ保険証に紐づけていない方に 7 月に送付した。医療現場で混乱しないように各医療機関での実情も把握しながら、引き続き検討していきたい」と回答した。懇談会には市長と藤田市民交流部部長、他 2 名の職員も同席した。

北阪神支部は今後も現場の声を届け、安心して医療が受けられる自治体になるよう取り組みを続けていく。

文化企画 吟行俳句会

吟
行
句
会
報

～緑眩し小林一三の愛した邸宅で～

川西市・堀池歯科 堀池 周司（俳号麟炎）



それぞれ吟行し作成した 7 句を披露

支部は 7 月 6 日に文化企画「吟行俳句会～緑眩し小林一三の愛した邸宅で～」を開催し、会員・家族ら 13 人が参加した。岡本クリニック（宝塚市）院長の岡本純子（俳号：品川純胡）先生を中心に、小林一三記念館（大阪府池田市）を散策しながら俳句を詠んだ後、敷地内の邸宅レストラン「雅俗山荘」で食事を楽しみ、池田市立カルチャープラザに移動して句会を開催しそれぞれ俳句を披露した。参加した堀池周司先生の感想文を紹介する。

異常に早い梅雨明けとともに、猛暑を伺う戦後八十年の夏が始まりました。大阪府池田市五月山の麓、阪急グループの創始者・小林一三の旧宅を利用した、小林一三記念館・雅俗山荘レストランに各々参集して兵庫県保険医協会北阪神支部恒例の吟行句会の始まりです。

総勢 15 人、緑陰恋しい炎天下の中、万緑の夏木立の庭で 1 時間少々句作に励みます。その後のお楽しみのランチは夏料理のフレンチです。スパークリングのロゼワインで副支部長の澤村新（俳号いるふ）先生の乾杯の御発声の後、目にも鮮やか、様々な素材を楽しみながら、会話と食事にお口は大忙しでした。

お腹も満たされた後は、タクシーに分乗して池田カルチャープラザへ移動し、雲雀社主宰岡本（俳号品川純胡）先生のご指導の下、取締役会のような大きな楕円の円卓を囲み句会が始まりました。各自の選句を披講したのち、主宰の選句と講評をいただき、楽しい時間は一気に過ぎました。久々に酷使した脳と暑さで、心地よい疲労と共に五感の満足を得ることができ、自分へのご褒美となる一日を過ごすことができました。企画頂いた事務局に感謝申し上げます。

（次のページに続く）

（前のページより）

選者品川純胡先生吟

遠嶺より郭公の声人我亭	品川純胡
牟寿迎え露の世ひと日を吟行句会	純胡
五月山にじり寄り来る夏座敷	純胡
有理数無理数燕は一直線	純胡
梅雨明や雲の変幻仰ぎけり	純胡
雲の峰ひとかたまりの五月山	純胡
フレンチの中に万緑雅俗山荘	純胡



岡本先生雅俗山荘レストランにて

品川純胡先生選（吟行句）敬称略

片陰をひろひつ庭園拝観す	真胡	道問われ万緑深きを指しにけり	かおり
緑陰に誘われ旧家拝観す	真胡	這松の青き枝葉や雲の峰	尚子
雅俗山荘宴祝うごと蝶の来て	真胡	朝涼の坂道の上雅俗山荘	尚子
緑さす木々に優しく微風来	多紀子	八十年記憶受け取り夏来たる	さくら
見上ぐれば木洩れ陽眩し夏木立	多紀子	真夏日や会えて嬉しき雲雀子に	さくら
夏草の茂り木陰の安らぎぬ	多紀子	句をひねり脳がもとめるかき氷	茜
七月は七度は見たり逸翁碑	いるふ	紫陽花の干ぬ葉に映るカタツムリ	茜
長屋門炎帝の陰風吹きぬ	いるふ	吟行も緑陰恋し雅俗山荘	雄山
長屋門日除となりて風の招く	いるふ	俳句より馳走が目当ての夏句会	雄山
古き店商店街の扇風機	いるふ	ぬかごの実食みて懐かしぬかご飯	雄山
緑さす空気の青さ雅俗山荘	彩胡	吟行を終えてビールのうまきかな	雄山
景観も食も万緑雅俗山荘	彩胡	擬宝珠の花のひっそり茶室裏	茂生
白南風に乗りて散策五月山	たずる	夏枯や蹲に落つる水も無く	茂生
緑陰の中に佇む記念館	たずる	フレンチの冷たきワイン暑気払ふ	西遼
苔の花木根に添いてそっと咲き	たずる	昼の酒うしろめたくも暑気払ふ	西遼
一三のバカラグラスや夏の光	たずる	万緑に鎮もる山の風抱き	麟炎
雅俗山荘白萩ひそと花芽つけ	玲子	飲み干せしグラスの底に夏の色	麟炎
青鳶に影をもらひて吟行す	かおり	逸翁の生き様訪ね夏館	麟炎

☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1805 / FAX 078-393-1802 e-mail akane@doc-net.or.jp 担当：大野まで

